

こちら 道立羽幌病院 です

小児科 須貝先生のお話し

「せき (1)」



「せき」も「熱」の場合と同様、なんらかの原因があつて、体が反応して出てくる症状です。

幸い、せきが出る怖い病気は、そうめつたにありません。

しかし、重い病気でなくとも、実際にせきをして苦しそうな子供を見ると心配になることが多いと思います。

「せき」はどんなせきでも同じではなく、その原因が「どこ」にあるかによって性質がかなり違います。ここではせきの起こる場所を「鼻」、「気管支・肺」にわけて考えてみます。

小児のせきのうち原因として多いのは、意外に感じるかもしれません。圧倒的に「鼻」です。一見のどから離れているように感じますが、鼻汁のどに落ちてせきを生じます。痰(たん)がからんだようなせきで、激しくなると

吐きそうな感じになりますが、この種類のせきに怖い病気が隠れていることはまずありません。

ただ、なかなか治りにくくやつかいであること、鼻の症状がそのまま進むと中耳炎などの耳の病気が起こりやすくなる、ということに気をつけなければいけません。

せきが出たときご家庭でできる簡単な対処法についてご紹介します。

まずは、体の姿勢を変えること、体を少し起こすと楽になることがあります。

つぎに「蒸気」を吸わせることです。蒸気は空気の通り道にこびりついた痰などをやわらげ、せきを楽にする効果があります。

次回以降で「のど」、「気管支・肺」について触れます。